

環境影響評価書案の概要
五日市町戸倉の採石事業

平成2年5月

田村石材工業株式会社
株式会社 ミユキ組

1 総 括

1-1 事業者の氏名及び住所

氏名：田村石材工業株式会社

代表取締役社長 田村 慶三

住所：東京都中野区中野三丁目37番7号

氏名：株式会社ミユキ組

代表取締役社長 織戸 直四郎

住所：神奈川県川崎市幸区幸町二丁目593番地

1-2 対象事業の名称

五日市町戸倉の採石事業

[対象事業の種類：土石の採取]

1-3 対象事業の内容の概略

本事業は現在、東京都西多摩郡五日市町戸倉において、東西に伸びる一つの尾根の両端で採石事業を行っている田村石材工業(株)及び(株)ミユキ組の二社が、今後20年間の具体的な採掘計画を立案し、事業を継続しようとするものである。

事業計画の概要は、表1-1に示すとおりである。

表1-1 事業計画の概要

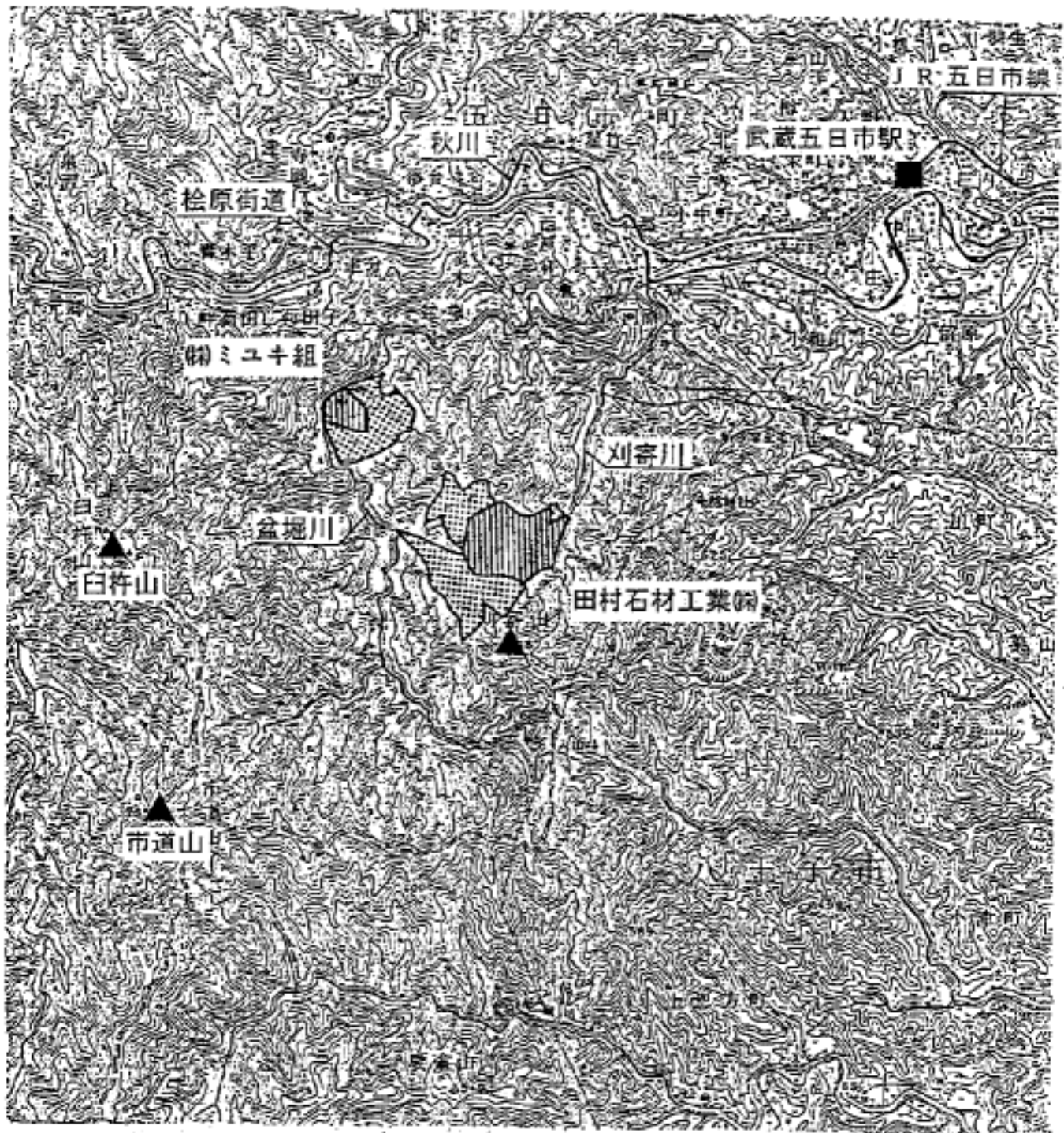
項 目	全 体	田村石材工業(株)	(株)ミユキ組
事業区域面積	956,327.58㎡	703,804.58㎡	252,523.00㎡
既事業区域 拡張区域	367,580.00㎡	304,326.00㎡	63,254.00㎡
	588,747.58㎡	399,478.58㎡	189,269.00㎡
年間採取量	912,000t	612,000t	300,000t
採取期間	20年間	20年間	20年間
20年間の 総採取岩量	18,240,000t	12,240,000t	6,000,000t
採掘方法	露天階段採掘法(ベンチカット工法)		
生産品目	碎石骨材(硬質砂岩)		
放流河川名	刈寄川・盆堀川	刈寄川	盆堀川

1-4 環境に及ぼす影響の評価の結論

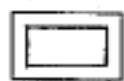
地域の概況と事業の内容を考慮して選定した予測・評価項目について、現況を調査し、事業の実施が環境に及ぼす影響について予測・評価を行った。評価の結論は表1-2に示すとおりである。

表1-2 環境に及ぼす影響の評価の結論

予測・評価項目		評価の結論
大気汚染		予測の結果、採石用地からの粉じんの発生頻度は少なく、防止対策を講じることにより発生、飛散が軽減され、最寄り民家の浮遊粒子状物質は環境基準値以下となり、出荷ルート沿道の集落の浮遊粒子状物質及び二酸化窒素濃度などは環境基準値以下であるため、周辺地域への影響は軽微であると考えられる。
騒音		予測の結果、発破騒音は最寄り民家に近い発破地点では火薬量を少なくすることにより環境基準値以下とし、工場騒音、重機騒音は最寄り民家で環境基準値以下であり、道路交通騒音は久保河原で朝の時間帯に環境基準値を超えるものの、要請限度値は満たすため、影響は少ないと考えられる。
振動		予測の結果、発破振動、工場振動、重機振動は最寄り民家で人体に感じない程度であり、道路交通振動は要請限度値以下であるため、影響は軽微であると考えられる。
水質汚濁		予測の結果、刈寄川への濁水流出は軽減され、盆堀川は現況が維持されるため下流河川への影響は軽微である。盆堀取水場への影響はほとんどないと考える。
地形・地質		予測の結果、採掘により人工斜面・平坦地が創出されるが、斜面の安定性は確保され、転石・落石、土砂の流出や出水はほとんどなく、盆堀取水場の水量の減少は約3%と小さいため、影響はほとんどないと考える。
植 物 ・ 動 物	陸上植物	既存林と周辺地域は現況が維持され、採石用地では注目される植物の一部は移植し、一旦消失する植物群落は生育環境の基盤整備により植生回復が進行し、事業区域の緑の量は20年後に約70%確保されるため、影響は最小限にとどめられると考える。
	陸上動物	予測の結果、事業区域では採石用地の拡大により移動能力の低い種の減少や大型哺乳類の行動域が縮小され動物相は変化するが、植生回復により生息環境とともに回復に向かうため、影響は最小限にとどめられると考える。
	水生生物	採掘区域内に水場環境は存在せず、周辺河川への濁水流出などの防止策を講じることから、水生生物相の変化はほとんどないと予測するため、影響は軽微と考える。
景観		予測の結果、地域景観の特性は現況が維持され、眺望景観は露岩の拡大などにより一旦変化するが、20年後の時点では露岩の後退、緑化などにより変化は少なくなるものと考えられるため、影響は最小限に抑えられると考える。



既事業区域／拡張区域



事業区域

図 2-2-1 位置図

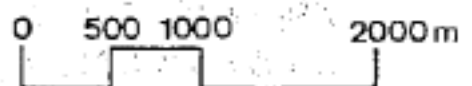













表2-2-2 経年土地利用計画一覧表

年	現況	着手1年後		着手5年後	
		00ミユキ組	田村石材工業㈱	00ミユキ組	田村石材工業㈱
土地利用状況					
区分		00ミユキ組	田村石材工業㈱	00ミユキ組	田村石材工業㈱
採石用地面積(m ²)	56,702	140,768	156,506	124,172	195,915
既存林面積(m ²)	195,821	562,617	547,299	128,351	507,880
全	197,400	758,838	698,339	320,087	636,241
体					

年	現況	着手10年後		着手15年後		着手20年後	
		00ミユキ組	田村石材工業㈱	00ミユキ組	田村石材工業㈱	00ミユキ組	田村石材工業㈱
土地利用状況							
区分		00ミユキ組	田村石材工業㈱	00ミユキ組	田村石材工業㈱	00ミユキ組	田村石材工業㈱
採石用地面積(m ²)	142,119	234,676	376,795	142,119	334,676	145,058	317,024
既存林面積(m ²)	110,404	469,129	579,539	110,694	469,123	106,467	386,781
全	376,795	579,539	579,539	376,795	463,080	463,080	463,080
体							

注) 着手15年後の採石用地面積は、着手10年後の採石用地面積内で採掘を行うため面積が増大しない。


 採石区域  採石用地